

平成28年11月4日

名古屋教育記者会各社

名古屋大学東山キャンパスにおける土壌汚染調査結果について

本学の東山キャンパスでは現在、実験研究棟（工学系）の整備を進めております。

このたび、当該建設地において、土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査を実施した結果、一部の箇所から指定基準を超える物質が検出されましたので、土壌汚染対策法に基づき名古屋市に本日報告書を提出しました。この調査結果等についてお知らせいたします。

1. 土壌汚染調査結果について

土壌の状況調査の結果、5箇所から基準を超える砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、鉛及びその化合物が検出され、濃度は別添表のとおりです。

汚染場所は、別添図面のとおりです。

2. 今後の対応

今回の土壌汚染にいたる原因は不明ではありますが、現状、付近の地下水の汚染は確認されておりません。今後、汚染土壌を適切に処理する予定としております。

本件に対する問い合わせ先

名古屋大学施設管理部

施設企画課長 向井 和人

TEL：052-789-2112

名古屋大学施設管理部

施設整備課長 園田 秀久

TEL：052-789-2122

基準超過の概要※1

基準超過物質	検出濃度（検出場所）	指定基準	過去の検出履歴※2
砒素及びその化合物 （土壌溶出量）	0.012mg/L (B2-7) 0.022mg/L (B2-9) 0.047mg/L (D3-1)	0.01mg/L 以下	有
ふっ素及びその化合物 （土壌溶出量）	1.1 mg/L (B3-3) 1.3 mg/L (D3-1)	0.8 mg/L 以下	有
鉛及びその化合物 （土壌溶出量）	0.015mg/L (B3-3)	0.01mg/L 以下	有
鉛及びその化合物 （土壌含有量）	200 mg/kg (C3-1)	150 mg/kg 以下	無

※1 汚染土壌の撤去深度は、詳細調査完了後に決定

※2 東山キャンパス全体における過去の検出履歴



東山キャンパス配置図

